町の居間（イマ）広場（ヒロバ）である事／人々を守る防災拠点である事

この施設には大きな役割が二つあると考えます。一つは、町民の方々が気軽に集える町の居間や広場のような施設であることです。もう一つは災害時に安全・安心な拠り所である事です。町の人々が使いやすく居心地の良い場であると共に災害時の安全・安心を両立する総合保健福祉施設を実現します。

平面計画

行政窓口（１階）
窓口はアクセスの良い１階中央に配置します。
保存が必要な書庫等は浸水リスクの無い２階に配置します。

診療所（１階）
高い地盤に配置し、RC 躯体や防水建具により浸水対策を徹底した上で、利便性の良い１階に配置します。

交流部門（１・２階）
１階には“**交流のイマ**”や調理室など気軽に立ち寄れる施設を配置します。
２階には“**暮らしのイマ**”を起点に避難所となる多目的ホール等を配置します。

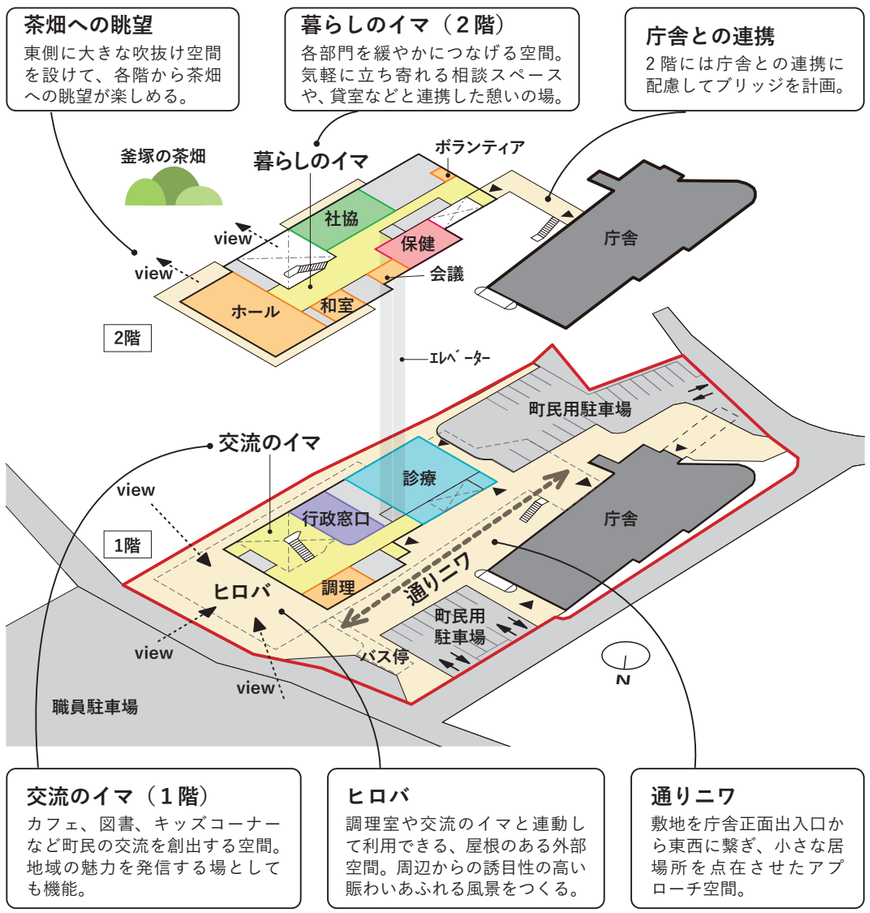
社会福祉協議会（２階）
２階の吹抜けに面した建物の中央に配置し、施設全体に目が行き届きやすい計画です。

保健センター（２階）
社協と隣接するため相互に連携が図りやすい計画です。

茶畑への眺望
東側に大きな吹抜け空間を設けて、各階から茶畑への眺望が楽しめる。

暮らしのイマ（２階）
各部門を緩やかにつなげる空間。気軽に立ち寄れる相談スペースや、貸室などと連携した憩いの場。

庁舎との連携
２階には庁舎との連携に配慮してブリッジを計画。

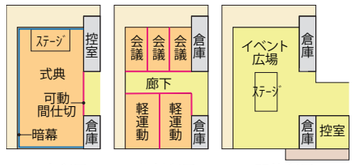


交流のイマ（１階）
カフェ、図書、キッズコーナーなど町民の交流を創出する空間。地域の魅力を発信する場としても機能。

ヒロバ
調理室や交流のイマと連動して利用できる、屋根のある外部空間。周辺からの誘目性の高い賑わいあふれる風景をつくる。

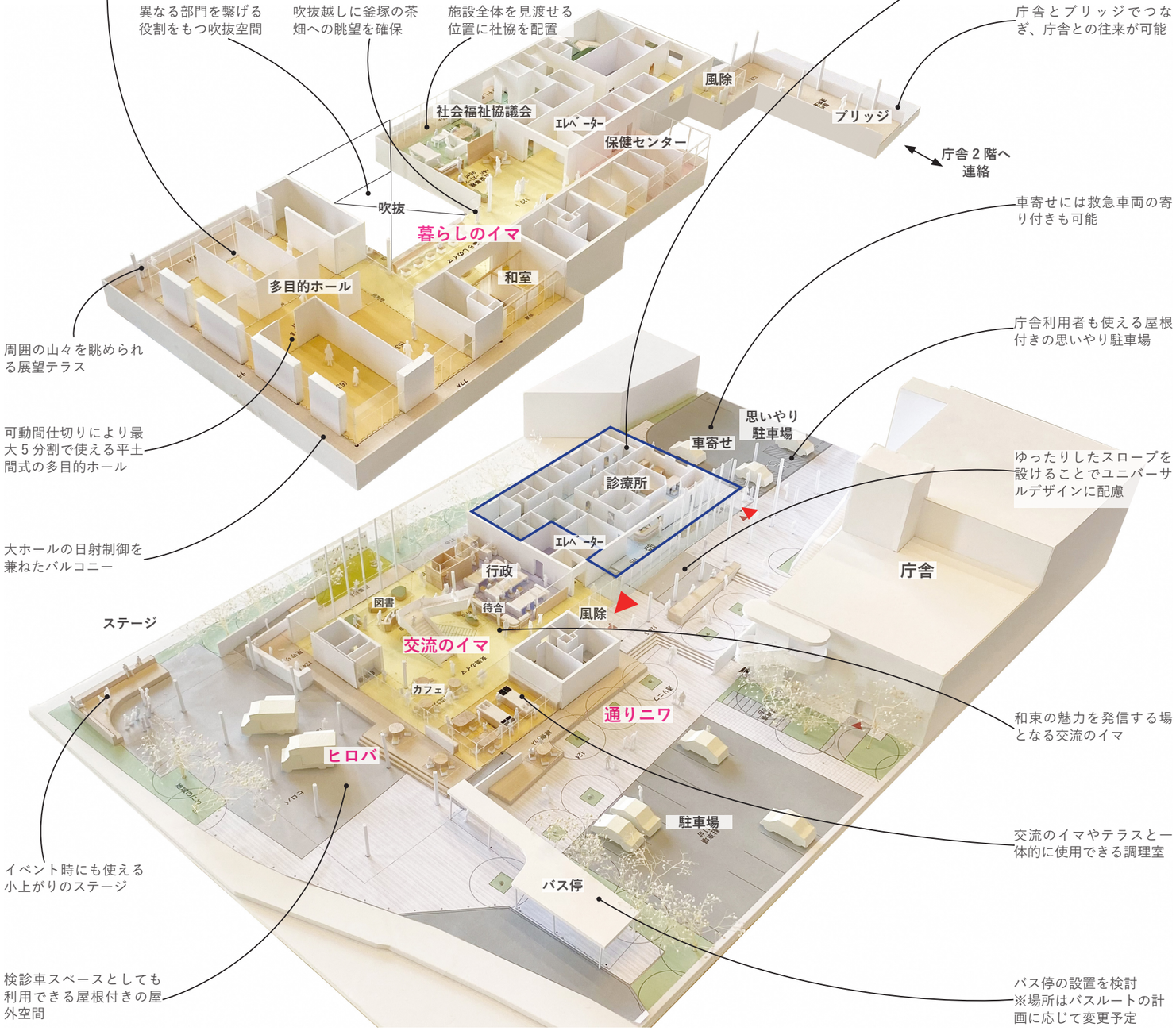
通りニワ
敷地を庁舎正面出入口から東西に繋ぎ、小さな居場所を点在させたアプローチ空間。

可変性の高い多目的ホール
可動間仕切と可動ステージによるフレキシブルなホールを計画します。式典など大きく１室として利用できるだけでなく、会議や軽運動など分割して利用することもできる、様々な利用に対応する計画です。



独立性の高い診療所
診療所は専用の出入口を設け独立性の高い計画とします。パンデミックなど感染症時には、診療所を他部門の領域と空気が交わらないように運用することが可能です。安心して施設全体を開館できる計画です。

異なる部門を繋げる役割をもつ吹抜空間
吹抜越しに釜塚の茶畑への眺望を確保
施設全体を見渡せる位置に社協を配置
庁舎とブリッジでつなぎ、庁舎との往来が可能
庁舎２階へ連絡
車寄せには救急車両の寄り付きも可能
庁舎利用者も使える屋根付きの思いやり駐車場
ゆったりしたスロープを設けることでユニバーサルデザインに配慮
和束の魅力を発信する場となる交流のイマ
交流のイマやテラスと一体的に使用できる調理室
バス停の設置を検討
※場所はバスルートの計画に応じて変更予定
周囲の山々を眺められる展望テラス
可動間仕切りにより最大５分割で使える平土間式の多目的ホール
大ホールの日射制御を兼ねたバルコニー
イベント時にも使える小上がりのステージ
検診車スペースとしても利用できる屋根付きの屋外空間



シーラカンスアンドアソシエイツ
愛知県名古屋市中区大須3-5-13
TEL052-251-1751
FAX052-251-1752

PROJECT	PHASE	TITLE	SCALE	DATE	PAGE
和束町総合保健福祉施設	基本設計	基本設計概要	1:300(A3)	令和４年　８月10日	01

外部仕上選定

長く町民の方々に愛される施設を実現するため、建築の長寿命化や環境負荷の低減、景観との調和などを考慮しながら、以下の方針に基づき仕上を選定していきます。

高耐久性、耐候性

長い年月に耐えられる丈夫な仕上を選びます。

高断熱性

内外の境界部分に使用する仕上は、空調負荷を低減できるよう断熱性能の高い仕上を選びます。

メンテナンス性

維持管理をしていくうえで負担の少ない仕上を選びます。

意匠性

周辺の景観と調和できる仕上を選びます。

外壁（鉄骨下地）
断熱性の高い仕上
（金属断熱ｻﾝﾄﾞｲｯﾁﾊﾟﾈﾙなど）

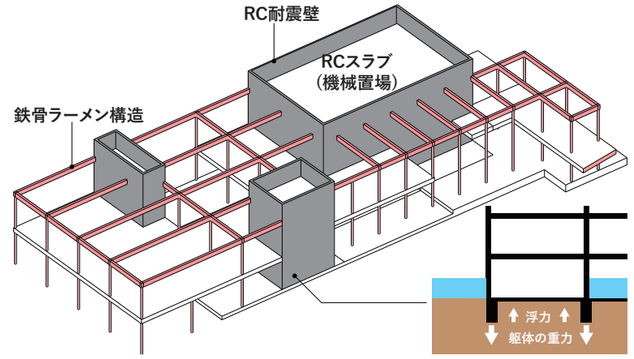
手すり壁（鉄骨下地）
耐候性、耐久性の高い仕上
（ガルバリウム鋼板など）
塗装色の選択肢が豊富

床（通りニワ）
保水性、透水性のある仕上を採用
（ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ、ﾎﾟｰﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄなど）
滑りにくい表面（安全性）

外壁（RC 下地）
断熱性の高い仕上を採用
（外断熱工法　樹脂性塗装仕上など）
塗装色の選択肢が豊富

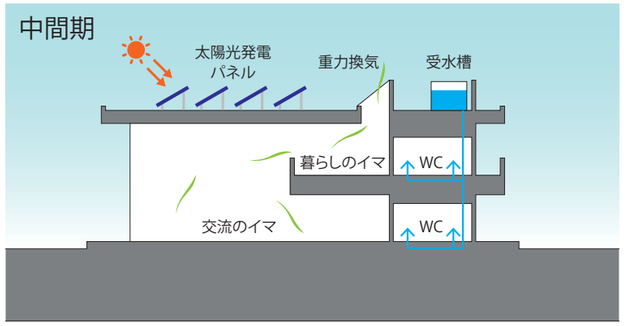
構造計画

コンクリートと鉄骨の混構造による、地震や水害に強い架構です。コンクリートで造られた 2 つのコアと耐震壁により、大地震にも耐えられる水平耐力を確保します。荷重の大きな機械設備はコンクリートコアの上に配置し、躯体に過度な負担がかからないよう配慮します。鉛直荷重のみを支持する柱は鉄骨造で計画し、軽やかな架構の実現や長スパンへの対応を可能とします。浸水時に水の浮力で建物が浮き上がらないような躯体重量とします。



環境計画

自然エネルギーの活用や高断熱化、高効率の空調システムなどにより環境負荷低減に配慮した建築を創ります。中間期は吹抜けを活用した重力換気により効果的な換気を行うことで、非空調で快適に過ごすことができます。浸水リスクや設備更新に配慮して、重要な設備は 2 階または屋上に配置します。

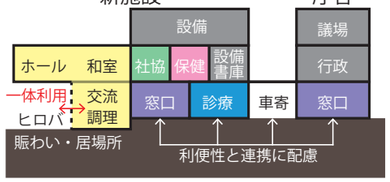


防災計画

日常的な利便性に配慮した断面構成とするとともに、浸水や地震などの災害時における防災機能の充実を図ります。利用者の利便性、庁舎を含めた各部門同士の機能連携、ヒロバや交流のイマ、調理室など建物内外の柔軟な連携により、様々な状況に対応できる便利で安全な計画です。

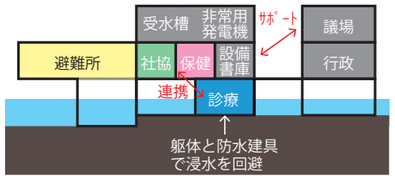
平常時：利便性と連携に配慮

利便性や庁舎との連携に配慮して、行政窓口や診療所を 1 階に配置。カフェや調理室など、市民活動のきっかけとなる施設も接地性に配慮して 1 階に配置。



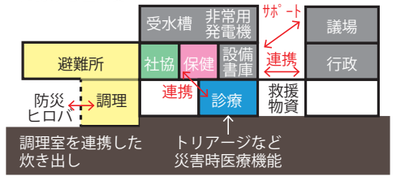
浸水時：人命救助と機能維持

避難所や、サーバーやキュービクルなど機能維持に必要な設備を 2 階より上に配置。1 階の診療所についても、RC 躯体や防水扉等により浸水対策を徹底。行政窓口の重要な書類も 2 階に配置。



地震等の災害：市民の安全と災害支援

ピロティ空間を炊き出しや救援物資受け入れ等に有効活用します。診療所はトリアージ等を行い、他の外部の医療機関とも連携しながら有事における医療支援を行う。



シーラカンスアンドアソシエイツ
愛知県名古屋市中区大須3-5-13
TEL052-251-1751
FAX052-251-1752

PROJECT	PHASE	TITLE	SCALE	DATE	PAGE
和束町総合保健福祉施設	基本設計	基本設計概要	1:300(A3)	令和 4 年　8 月 10 日	02

南西側外観イメージ

北側外観イメージ

１階交流のイマ内観イメージ

２階暮らしのイマ内観イメージ

シーラカンスアンドアソシエイツ
愛知県名古屋市中区大須3-5-13
TEL052-251-1751
FAX052-251-1752

PROJECT
和束町総合保健福祉施設

PHASE
基本設計

TITLE
基本設計概要

SCALE
1:300(A3)

DATE
令和４年　８月10日

PAGE
03